

登録コード	T5A10300	開講年度	2026			
授業科目	建築設計製図 I (16T以降)				担当教員	寺内 美紀子 他
英文授業名	Building Design and Drawing 1				副担当	遠藤 洋平
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・3時限 火曜・4時限 火曜・5時限	対象学生
講義室	工C5-製図室 工W2-601教室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】			⇔	【授業の達成目標】	
	2 5Tカリ, 2 3Tカリ					
	【22T～】専門分野における専門的学力が身についている。			⇔	製図に関する基礎的な知識が身についている。	
	【22T～】専門的学力を基礎とし、的確な情報を収集・理解し、これを他の人に発信できる能力が身についている。			⇔	設計に必要な情報を収集・理解し、設計に活かす能力が身についている。	
	【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。			⇔	製図に関する基礎知識、設計に必要な情報の収集・理解を総合し、美しく明確なプレゼンテーションに取り組む力が身についている。	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	<課題の概要> 建築設計の応用として、第一課題では公共的な施設の設計を行い、第二課題では建築の持つ社会性や意義を踏まえ、子どもや老人といった利用者の特性に配慮した公共的な施設の設計を行う。 <授業の特色> 1、担当教員が、建築設計の実務経験を活かして講義、設計の助言、指導を行う。 2、学生を20名程度の班に分け、各教員が一班ずつマンツーマンで指導を行う。 3、2年生で身につけた基礎力をもとに様々な新たな観察と調査が要求される。 4、課題に対して学生が自ら提案を行い、総合的に課題対応能力を身につける主体性が重要となる。					
(5)授業計画	第1回 第一題説明、スライドレクチャー、敷地見学・実測 第2回 エスキスチェック1（テーマ・コンセプト、配置計画、ゾーニング） 第3回 エスキスチェック2（必要諸室の整理、配置、平面、ボリュームスタディー） 第4回 エスキスチェック3（断面、立面、模型によるスタディー） 第5回 エスキスチェック4（プレゼンテーション） 第6回 清書 （図面・模型提出） 第7回 講評会 第8回 第二課題説明、スライドレクチャー、敷地見学 第9回 エスキスチェック1（テーマ・コンセプト、配置計画、ゾーニング） 第10回 エスキスチェック2（必要諸室の整理、配置、平面、ボリュームスタディー） 第11回 エスキスチェック3（断面、立面、模型によるスタディー） 第12回 エスキスチェック4（プレゼンテーション） 第13回 清書 第14回 図面・模型提出 第15回 講評会（第二課題）授業アンケート					
(6)成績評価の方法	1、毎回のマンツーマンのチェック時に課せられた課題に対する十分な思考の蓄積。 2、教科書的な意見ではなく自らが考える主体性。 3、それらの蓄積を形態に移して行く過程における十分な試行錯誤。 4、プレゼンテーション能力。					
(7)成績評価の基準	1、エスキスおよび作成途中の図面、模型から、毎回のマンツーマンのチェック時に課せられた課題に対する十分な思考の蓄積を評価する。 2、最終的なプレゼンテーション及び図面・模型の完成度から、計画、構造、設備などの建築設計に必要な基礎知識の習得度を評価する。 3、最終的なプレゼンテーション及び図面・模型の完成度から、主体的に思考した設計条件を意匠的に統合し、ひとつの建築物としてまとめる能力を評価する。					
(8)事前事後学習の内容	週1回の授業で2単位の授業（90時間の学修が必要） 授業時間30時間（2時間×15回），自習学習時間60時間（4時間×15回）					
(9)履修上の注意	建築・デザイン工学製図Ⅰ、Ⅱの履修を終えていることが望ましい。					
(10)質問,相談への対応	演習の最後に質問の時間を設ける。					
(11)その他						
【教科書】	コンパクト建築設計資料集成 日本建築学会編 2006, 5,720円					
【参考書】	指定しない					